

がん専門医に聞く

富山労災病院

外科部長

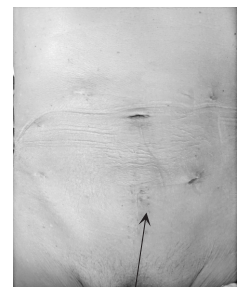
かどや なおたか
角谷 直孝

— 大腸癌の腹腔鏡下手術 —



大腸癌に対する腹腔鏡下手術は1992年頃からごく一部の施設で始まり2002年に保険適応の拡大があり一気に全国的に普及しました。著者もこの頃より症例を選んで腹腔鏡下に大腸癌手術を行っていましたが2005年より本格的に大腸癌に対する腹腔鏡下手術に取り組み、前任施設では全大腸癌症例の25～30%くらいをこの方法で行っていました。手術はまず腹腔鏡（カメラ）を挿入する1センチの創をおきます。続いて細長い手術器具を挿入する5ミリの創を4箇所おきます。術者用が2箇所、助手用が2箇所です。この創は術後には皮膚のしわと区別がつかずにわからなくなります。最後に4から5センチの小開腹創をおきますがこの創は切除標本を取り出すのに使うほか腸管吻合にも利

用します。開腹手術の際は小腸を手で押さえて術野を作りますが腹腔鏡下手術では体位変換により小腸を排除し、腹腔内を炭酸ガスで膨らませ手術視野を確保し（気腹）、カメラで腹腔内をモニターに映し手術を進めます。手術は開腹の場合とまったく同様にごん病巣を中心とした腸管の剥離、ごん周囲のリンパ節の廓清（きれいに取り除く）、血管処理を行います。カメラによる拡大視効果により緻密な手術ができる、気腹効果により剥離面や層の把握が容易になる、その結果出血量の少ない手術が可能になるなどが利点として挙げられます。ハイビジョンカメラ、モニターの登場で3次元の空間把握は以前よりはるかに容易となり、高流量の気腹装置の登場とあいまって術者のストレス軽減に役立っています。しかし鏡視下手術の最大の欠点は触覚の欠如です。さらに手術器具の運動に角度制限があるため円滑な手術操作には習熟が必要です。このため高度の癒着例は手術が非常に困難となります。肥満症例の腹腔鏡下手術も癒着例とともに難度の高い手術となります。手術器具を動かす自由度が狭い、スコープと手術器具が干渉しやすい（操作のスペースが狭い）ことが理由としてあげられます。



→ 小開腹創

肥満症例の腹腔鏡下手術は手術器具の更なる進歩とともに術者の技術向上で今後の適応拡大が期待されています。前任施設では2005年より現在まで約130例ほどの大腸癌症例に腹腔鏡下手術を行ってきました。標準的な症例であればほとんどの例で3時間以内に手術は終了し、安全性や根治性は開腹手術と何ら遜色ありません。短期的には創部痛や創感染が少なく術後の体力の回復が早いこと、長期的には腸閉塞が少ないことが本手術の利点と考えています。

ご質問やご相談は地域医療連携室まで、また富山労災病院ホームページもご覧ください。

発行：独立行政法人労働者健康福祉機構
富山労災病院 地域医療連携室
〒937-0042 魚津市六郎丸992

Tel: 0765-22-1354
Fax: 0120-935-631 (フリーダイヤル)

富山労災病院 救急外来からのお知らせ

富山労災病院では終日救急患者の診療を行っております。また、平日の午後5時以降および休日は救急外来を開設しており、病状により専門医師が診療いたします。

受診される場合22-1280までお電話下さい。

富山労災病院では院内感染対策に取り組んでいます



院内感染対策委員長 さわき まさる 沢木 勝 医師に聞きました。

— 病院へ行くと病気が移って本当？ —

焼肉チェーン店で発生した、腸管出血性大腸菌O-111やO-157による食中毒事件が大きな問題になっています。目に見えない微生物が引き起こす病気の恐ろしさがクローズアップされました。実は医学の歴史のかなりの部分は微生物（細菌やウイルスなど）との戦いに費やされています。この問題を克服するために消毒法が発見され、微生物に効く抗生物質や抗ウイルス剤が開発されました。「焼肉を食べたらおまけに食中毒がついてきた」というような悲惨な状況にならないように、病院では「おまけの病気」にかからないように各種の感染対策を行っています。

例えばインフルエンザの季節にはマスクの着用、手指のアルコール消毒を行うわけですが日常的に患者さんのお世話をする看護師は原則として一人の患者さんの処置が終わるごとに他の患者さんに病気が移らないよう手指のアルコール消毒を行います。もちろん手術のとき外科医は無菌の手袋をします。さらに感染力のある病気の患者さんは一人部屋に入って治療します。また現在ではいろんな種類の抗生物質がありますが、病気の種類により適切な抗生物質の十分な量をなるべく短期間投与することが薦められています。これは強い抗生物質を長期間使用すると微生物はさらに強力な微生物に変化することが分かったためです。感染症の治療が終了したのにさらに医師に抗生物質をねだる行為は「おまけの病気」になりやすく賢明な行動ではないように思います。



救急外来について



富山労災病院では、市民の皆様の健康を守るために
終日救急患者の診療を行っております。

救急外来 Q&A



- Q1**：急に頭痛がするようになりました。検査や治療ができるのでしょうか？
A：必要時、脳外科専門医の検査や治療を受けることができます。
 受診される際には、できましたら電話22-1280までご連絡ください。
 また、保険証、診察券（ございましたら）をご持参下さい。

専門外来の紹介

物わすれ外来：(月)(木) 午前10時～12時

頭痛外来：(火)(木)(金)

午前11時～12時

しびれの外来：(月)～(金) 午前9時～12時

関節外来：(月)～(水) 午前9時～12時

腰痛外来：(水) 午後1時30分～4時

リウマチ外来 整形：(火) 午前9時～12時

リウマチ外来 内科：(月) 午後2時～

尿失禁外来：(水) 午後1時30分～3時

6月の休診：(内) 新敷医師 2・3日 水橋医師 2・3・28日 絹野医師 16日 石木医師 23日
 (整形) 徳永医師 17日 (眼) 小林医師 17日 (形) 井出医師 13日